

各 位

2026 年 1 月 13 日
株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

3 号連続緊急企画「人を襲うクマ 2026」
登山者とクマの事故事例と対応策を考える
&
朝、急に思い立っても間に合う山を集めました！
「全国 2 時間登頂の山 50」
『山と溪谷』2 月号は 1/15 発売！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、登山情報誌『山と溪谷』2 月号（2026 年 1 月 15 日発売）で、緊急企画「人を襲うクマ 2026」掲載号を刊行します。

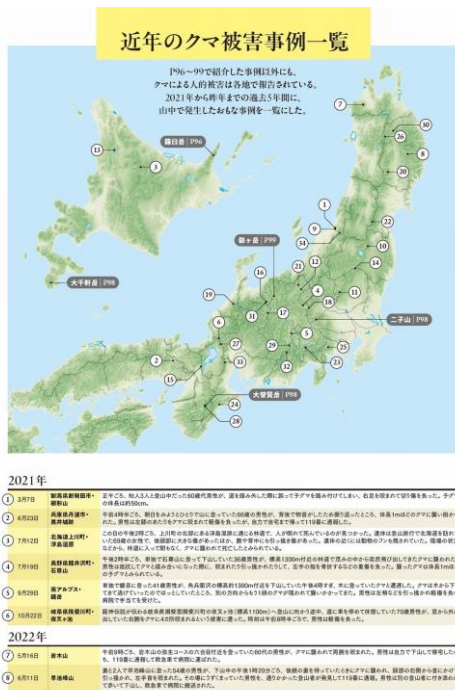
クマの話題に事欠かなかった 2025 年。

クマが活動をはじめる春を前に、私たち登山者は「正しく恐れる」ために、実態を知り、対策を立てておく必要があります。

今号では過去の事故事例を取り上げ、次号から対応策についての考察を行います。



記憶に新しい 2025 年 8 月に発生した北海道・羅臼岳でのヒグマによる死亡事故をはじめ、2022 年 10 月の奥秩父・二子山でのツキノワグマに攻撃を受けた事例、2022 年 12 月の大峰山系・大普賢岳でのクマの突進による崖下滑落事故など、近年発生したクマ被害事例を一覧にまとめました。



いま、山でなにが起きているのか。
 私たち登山者はどう行動すればいいのか。
 まずは事故事例を知ることから、この短期連載をはじめます。

そして、特集は「全国2時間登頂の山50」



登山口から山頂まで2時間以内！
 思い立った朝にパッと登りにいける山を全国から50座集めました。
 ロープウェイを使うラクチン登山、整備された道でスニーカーでも行ける超ビギナー歓迎の山、下山



●ロープウェー

登りか下りに使ってラクチン時短登山！ ヒザの負担も軽く！



天空遊覧を経てたどり着く山頂。
いつも通り「ラクチン」して、
気分も盛り上がりたこと間違いなし！
※ロープウェイは天候や交通による運休あり。

ロープウェイの山



阿仁ゴンドラ
阿仁ゴンドラは、阿仁町にある、阿仁山を縦断するゴンドラ。阿仁山は、阿仁町の中心地である。阿仁山は、阿仁町の中心地である。阿仁山は、阿仁町の中心地である。

06 森吉山
阿仁ゴンドラを使って
山のお花畑トレッキング

阿仁ゴンドラ
0186-82-3311 8時
45分～15時30分（下り最
終16時）。随時乗車可。運
送料は入場料に含む。乗車
料あり。6月上旬～11
月上旬（6月下旬～10月
上旬は入場料のみ）1日片
道1400円、往復2000円



後見平付近に咲くハクサンシャクナゲ（7月上旬）

横尾潤子＝構成 各ロープウェイの運営会社＝写真提供 42

●日本百名山

あの名山にたったの2時間で登頂できる！



日本を代表する名山の中にも
手軽に登れる山があります。
深田久弥の著書
『日本百名山』の文と
合わせて紹介します。

日本百名山



39 安達太良山
ロープウェイで登れる
人気の日本百名山

「日本百名山」
とは
「日本百名山」は、1964年に刊行された、深田久弥の著書『日本百名山』に収録された、日本を代表する100の山。この100の山は、日本を代表する100の山。この100の山は、日本を代表する100の山。

『日本百名山』より
それは一つの登山の形ではなしに、幾つかの峰の連なりを登っていった。（中略）その中央の最高峰のような阿蘇山が安達太良山になっている。（中略）少しづつ安達太良山が安達太良山に見えたのは、（中略）その全体を指してのことだ。



牛ノ背から寛平とした景色が広がる田ノ平を見下ろす

小林千穂＝構成 74

その他、「パノラマの山」「スニーカーの山」「風呂・酒・グルメ」「海が見える山」「奇岩・怪岩」

も！

空気が澄んで低山ハイクには絶好のこの季節に、ぜひお役立てください！

■商品情報

書名：山と溪谷 2026 年 2 月号

発売日：2026 年 1 月 15 日

定価：1,430 円(本体 1,300 円+税 10%)

仕様：A4 変形判、160 ページ

<https://www.yamakei.co.jp/products/2825901615.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：五十嵐

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>